

提言1

安心して農業を続けられるよう 価格保障・所得補償を充実する



多くの農家が「もうやっていけない」と悲鳴をあげています。コストを確実にカバーできる価格保障制度をつくります。また、生産費を保障する「不足払い」制度などの所得補償制度を充実させます。

トウモロコシや大豆など輸入価格の異常な高騰に対して、「交付金制度」を復活・充実させて、麦・大豆・飼料作物の国内増産をはかります。

提言2

家族経営を柱に、大規模経営も 農業続けたい人すべてを応援する

規模の大小で農家を選別する「品目横断対策」をやめ、家族経営を支えます。わが国の農業を支えている大規模農家や生産組織をしっかりと応援します。新たに農業を始める人に、「月15万円を3年間支給」する制度をつくりま

提言3

自国民の食料を最優先するのは当然 「食料主権」を保障する貿易ルールを

「国民の食料は、最大限、自分の国の農業でまかなう」のが、世界であたりまえの考え方です。『たれ流し輸入』をくいとめ、国民の食料を安定的に確保するために、関税や輸入規制などの措置をキチンととります。東アジア各国と協力して、アジア規模での食料不足に立ち向かいます。

提言4

消費者と農業者が力をあわせて、 「食の安全」と地域農業の再生を

中国製ギョーザ事件をはじめ、「食の安全」がゆるがされています。食料自給率を抜本的に高めながら、生産現場から消費者まで、共同した取り組みを広げます。

